

2025年度 博士後期課程向けAim-Highプログラム募集要項（前期募集）

Aim-Highプログラムには、大学・研究機関で活躍する高度な博士人材の育成を目的とする「研究者養成コース」とイノベーションをリードする博士企業人の育成を目的とする「産学協働教育コース」の2つのコースがあります。

「研究者養成コース」では、海外の研究者と連携した研究指導を受け、博士後期課程在学時には海外留学を行います。

「産学協働教育コース」では、企業及び研究機関等との組織的な連携のもと、本学教員と企業及び研究機関等の研究者との共同研究に参画し、学生・教員・企業及び研究機関等の研究者の間で立案されたオーダーメイドのカリキュラムを履修します。

Aim-Highプログラム生は、GJECで実施している国際活動支援のプログラムに申請した場合、選考の際に優遇されます。

1. 応募資格

大学院自然科学教育部博士後期課程に在籍する者

2. 出願期間

2025年4月4日（金）～2025年4月18日（金）16時まで（必着）

3. 出願手続

志願者は指導教員の同意を得た上で、次の提出書類等をMoodle（下記URL）に提出してください。

<https://md.kumamoto-u.ac.jp/course/view.php?id=84543>

① 博士後期課程向けAim-Highプログラム申請書（所定様式）（PDFファイル）

② 博士前期課程（又は修士課程）成績証明書（PDFファイル）

ファイル名は「学生番号 氏名」としてください。

例 「123d4567_熊大太郎_申請書.pdf」 及び 「123d4567_熊大太郎_成績証明書.pdf」

4. 選考方法

原則として書類選考及び面接とします。

5. 選考結果

選考結果は、個別に連絡します。

6. 出願について

(1) 出願書類に不備があると、受理できない場合があります。

(2) 提出された出願書類は返還されません。

(3) その他の不明点については、熊本大学自然科学系事務課大学院教務担当へ問い合わせてください。

7. Aim-Highプログラム修了要件

博士の学位を取得し、かつ以下の要件を満たした学生は「Aim-Highプログラム」修了認定を受けることができます。

(1) 研究者養成コース

- 1) 学内インターンシップを実施している。
- 2) 海外留学を実施している。(最低1ヶ月以上で3ヶ月以上が望ましい)
- 3) IJEPプログラムの「先端科学科目」に配置されている次の2科目の単位を修得している。
Current Science and Technology in Japan (日本の先端科学) (2単位)
English for Science and Technology (科学技術英語特論) (2単位)

(2) 産学協働教育コース

- 1) 訪問型共同研究あるいは滞在型共同研究を実施している*。
- 2) 大学院教養教育科目マネジメント概論の次の1科目の単位を修得している。
MOT 概論基礎編 (1単位)

※ 共同研究の進捗状況については、主任指導教員含め研究指導委員会が適宜確認します。

※ 社会人学生については、勤務先での研究活動を滞在型共同研究とすることができます。

※ ZOOM等オンラインでの共同研究の打合せ等も可とします。

問合せ先：大学院教務担当 096-342-3013・3016 (ダイヤル)

Aim-Highプログラム（博士後期課程向け）とは

熊本大学大学院自然科学教育部博士後期課程において、基礎研究から応用研究までの広範な研究基盤の上に立ち、世界に通用する研究者および高度な専門知識をもつ技術者を育成するプログラムです。世界最高水準の研究を支える研究志向型人材を養成するために、学業成績、人物ともに優れた学生を対象としています。

特徴と構成

Aim-Highプログラムには、大学・研究機関で活躍する高度な博士人材の育成を目的とする「研究者養成コース」とイノベーションをリードする博士企業人の育成を目的とする「産学協働教育コース」の2つのコースがあります。いずれのコースでも一定の基準を満たせば早期の学位取得が可能になります。

「研究者養成コース」では、海外の研究者と連携した研究指導を受け、博士後期課程在学時には海外留学を行います。

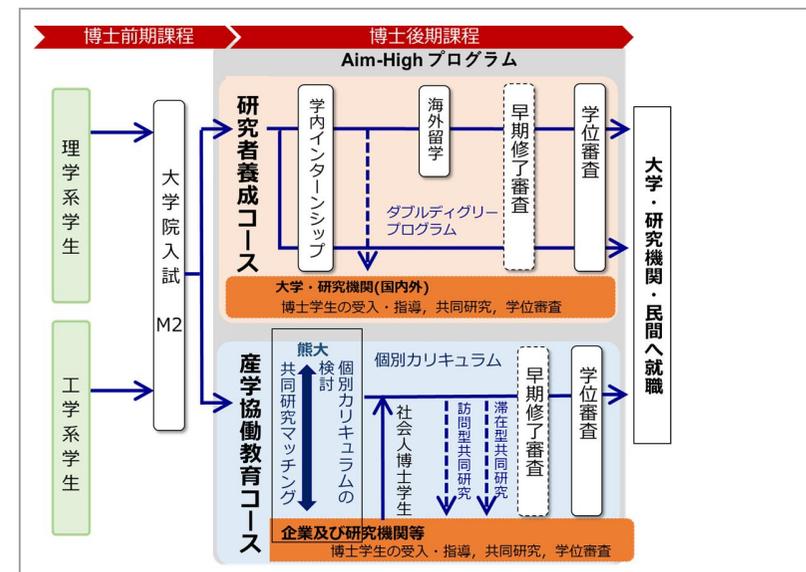
「産学協働教育コース」では、企業及び研究機関等との組織的な連携のもと、本学教員と企業及び研究機関等の研究者との共同研究に参画し、学生・教員・企業及び研究機関等の研究者の間で立案された訪問型共同研究や滞在型共同研究を行います。

※Zoom等による遠隔での研究打合せ等も共同研究とします。

熊本大学

大学院自然科学教育部
博士後期課程向け

Aim-High プログラム



問合せ先：大学院教務担当 096-342-3013(ダイヤルイン)

研究者養成コース

○ 学内インターンシップについて

通常の研究指導教員のグループを離れて、異なるグループで一定期間活動します。活動の期間や形態は問いませんが、異なる環境で研究者としての見識を広める努力をします。学内インターンシップの具体例としては次のような場合が考えられます（※学外の大学、研究機関等で実施する場合はご相談ください）。

- 研究指導教員以外の研究室のゼミに参加して自身の成果について議論
- 研究指導教員以外の研究室で異なる研究手法を修得
- 研究指導教員以外の研究室で自身の研究手法を指導

○ 海外留学について

最低一か月以上で、三か月以上がより望ましいといえます。海外留学には渡航費および滞在費など多額の費用が必要です。日本学術振興会特別研究員などの学生自身の予算や研究室からの支援がない場合でも、学内あるいは公的な支援制度が活用できます。いずれにしても競争的な制度ですので、支援対象者となるには英語コミュニケーション能力を高めるなどの努力が必要です。

（支援制度の例）

- IJEP 海外派遣プログラム（日本人学生対象）奨学金（給付型）
（JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（給付型））
- トビタテ留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）奨学金（給付型）
- 学長裁量経費による教育部からの渡航費支援

産学協働教育コース

○ 共同研究マッチングについて

本コースを希望する場合は指導教員が企業及び研究機関等との共同研究を実施し、その研究に学生が参画して学位論文としてまとめるというマッチングが可能かを事前に指導教員と十分に相談して下さい。マッチングが不成立になったり共同研究が終了したりした場合は一般の大学院生と同じ扱いに戻ります。

○ 個別カリキュラムについて

共同研究の中で学生が企業及び研究機関等に出向いて行う訪問型共同研究および滞在型共同研究を実施して、基礎研究から応用研究への展開を図ります。

※ZOOM 等による遠隔の研究打合せ等も共同研究とします。

その他 共通事項

- 入試について：現行の大学院入試を受験して合格する必要があります。
- 早期修了について：修業年限特例の制度によります。
- 授業料について：一般の大学院生と同じです。
- プログラムを離脱する場合：一般の大学院生と同じ扱いに戻ります。
- 途中でプログラムへ入る場合：博士後期課程修了時まで申請可能です。申請時期は年二回（4月期、10月期）です。